

第13号

ほっとほ〜む

<発行> 社会福祉法人 大阪福祉事業財団 高鷲学園 072 - 953 - 3881 FAX 072 - 953 - 3882
 <発行責任者> 園長 瀬川 佳成 Eメールアドレス takawashi@miracle.ocn.ne.jp
 〒583 - 0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘2丁目6番20号



6月3日、高鷲保育園と合同で「第48回たかわしこどもまつり」を開催し、たくさんの地域の方々に来ていただきました。
 今年は、「あつまれ! 未来にはぼたく〜と子どもたち」〜わたしたちの大きな夢〜というテーマで行いました。内容は、中央舞台、こど

あつまれ! 未来にはぼたく〜と子どもたち

ものひろば、平和コーナー、模擬店に加え、新しく「ゆめひろば」を設置しました。
 ゆめひろばでは、折り紙に将来の夢や気持ちを書いてもらい、一つ一つを貼り合わせて大きな虹をつくりました。絵で表現してくれた小さな子どもから大人までたくさんの方が参加して下



さり、200をこえる夢がならびました。皆さんの素敵な夢を知ることができて、とても温かい気持ちになりました。子どもも大人も夢を大切にできる社会になればいいなと思います。その思いを込めて少し紹介したいと思います。

「おひめさまになれますように」
 「プリキュアになりたいです」
 「消防士になりたい」
 「考古学者」
 「おかあさん、おとうちゃんありがとう」
 「家族みんなが健康で仲良くいられますように」
 「がんばって一番になりたい」
 「空をとんでみたい」
 「保育士さんになって、皆から憧れられる先生になりたいです」

「オリンピック選手になりたい」
 このおまつりでは、たくさんの地域の方々、関係団体の協賛、協力を頂きました。ありがとうございました。これからも、どうぞございました。これからも、たかわしこどもまつりが地域に根ざしていつまでも続いていけることを願っています。

(事務局 出水 小牧)

ほっとほの特集

小規模グループケア 「ぱんだブロック」 はじまりました

2階フロアの続きには、小規模グループケア室が6部屋あります。昨年度までは、高校生女子が自立を目指して生活していましたが、この4月からは中高生女子6名を1つのグループとして生活をスタートしました。

子どもたちに「ぱんだブロック」と名付けられ、入口では子どもお手製のぱんだの表札が心を和ませ出迎えてくれます。

子どもは6名と少ないですが、日々の生活を2名の職員でつなぐことは難しく、各フロアから応援に入っています。少人数での生活は静かでゆつくりとしていて落ちつけますが、思春期の女の子6名の集団なので、お互いの距離を子

ども同士で気を遣いながら保っているようです。また、学園で生活するリーダーとして他のフロアともどうかかわっていくのか大人も子どもも孤立することなく生活を送るためにも、みんなで考え高鷲学園スタイルを作っていきたいと思っています。またの報告を楽しみにしててくださいね。

(1階ブロック 松崎 美和)



楽しく安らげる生活へ

今年度から小規模グループケアブロックができ、中高生の女の子6人が生活を始めました。今までは小学生や男の子もいる大人数の中で生活してきた子たちなので6人という少ない人数に最初は慣れず、「静かすぎる」「寂しい」という声も上がりました。しかし、1カ月と少したった今では、「このブロックで良かったわ」や「こ

のブロックだけで へ行きたい」などの声上がり、小規模ブロック内で団結力がでてきたように思います。

私自身としては、初めて担当児童を持ち、また中高生の女の子ということもあり戸惑いと手探りでスタートとなりました。最初は子ども達との距離の取り方がわからず1日1日が目まぐるしく精一杯でした。

一カ月経ち子ども達の学校生活も軌道に乗り、生活パターンがやっとなでかあがってきました。

まだまだわからないことが多くありますが、焦らず6人の子ともたちと一緒に楽しく安らげるぱんだブロックにしていきたいと思っています。

(小規模ブロック 奥村 瑞穂)

ぱんだブロックになって、とても楽しい生活が送れています。

女の子6人のブロックで、男の子がいないので気が緩みすぎる時もあるけれど、とてもリラックスしています。

(高校生 女子)

子どもたちのもくろ ゆあぶつく

3年前に高鷲学園の援助指針を改訂しました。それがきっかけで、子どもたちの指針もあつたらいいのではという声があがりました。あなたにはこんな権利があるよというのを子どもたちに伝えるために、子どもたちの権利を書いた「子ども指針」を作ろうと、指針権利擁護委員会で検討してきました。

1年目、子どもたちにアンケートを取り学園生活への意見や思っていることの聞き取りを行いました。『学園生活のこんなところが良い、嫌だ、もっとこういう風になればいいな』という子どもたちの声を参考に2年目、子ども指針の作成に取りかかりました。子どもたちひとりひとりに大切にしてもらえるように、「ゆあぶつく」と名付け読みやすいように、見やすいように、試行錯誤を重ねまし



た。文章は子どもたちに伝えたいことを載せました。

挿絵は子どもの絵がいいねということ子どもたちに呼びかけ、募集しました。幼児さんから高校生までたくさんの子が可愛い絵を描いてくれました。試作品を子どもたちにも見てもらい、「こはもつと変えた方がいいんじゃない」という意見をもらい、何度も作り直しました。

そして、もうすぐ完成です。子どもたちひとりひとりのもつに「ゆあぶつく」が届きます。子どもたちが自分を大切にし、自分を守ってくれる大人と一緒に大きくなっていける手助けになればいいなと思っています。

(3階ブロック 鈴木 可奈)



寄付金・寄贈をいただいた方

(2012年3月29日〜2012年6月20日)

ありがとうございました。

(敬称略)

寄付金

八チノ子基金 匿名者(藤井寺市)

寄贈

大阪電業組合(図書券) 日本鯉のぼり協会

(鯉のぼりセット) 大阪府玩具人形問屋組合

(玩具) チュチュアンナ(靴下) 浅田満

(国産牛ロース) 真銅善夫(ぶどう)

「八チノ子基金」(施設児童の就学援助と自立支援のための基金)

この度、心ある方から、大学等への就学援助と卒園児童の生活支援のために使って下さい、と多額のご寄付をよせて下さいました。

「八チノ子」と名づけて基金を創設し、子どもたちのために利用させていただきます。この基金が長く続きますように、皆さまのご支援をよりしくお願いいたします。

財団後援金の更新

入会のお願い

会員の皆さん、いつも子どもたちにあたたかい御支援をありがとうございます。

皆さんのお力で、高鷲学園を支えて下さい。

新しく会員となつてくださる方を広く募集しております。新年度となり、既に会員の皆さんは更新をよりしく願います。

一口年間3,000円です。

食中毒に気をつけよう

栄養士から食中毒予防の6つのポイントを紹介します。

食中毒予防の6つのポイント

食品の購入：生鮮食品は新鮮なものを購入しましょう。

家庭での保存：温度管理の必要な食品は速やかに冷蔵、冷凍しましょう。

冷蔵庫は10 以下、冷凍庫は-15 以下が目安です。

下準備：調理をする前はしっかり手を洗いましよ。生野菜や肉、魚などは一緒に置かず別々に切り、食品ごとにまな板や包丁をきれいにしましょう。

調理：加熱を十分に行うことで殺菌することが出来ます。目安としては中心の温度が

75 1分間以上加熱することです。

食事：食事の前に手を洗いましよ

残った食品：時間が経ったら思い切って捨てましよ。またみそ汁やスープなどは沸騰するまで、加熱す

る。加熱食品は再度加熱する。

家庭でもできる簡単食中毒予防です



NHK歳末たすけあい義援金の配分による事業完了のお知らせ

このたび社会福祉法人大阪府共同募金会から配分を受け、以下の事業を完了致しました。ご支援を賜りました関係者の皆さまに感謝の意を表します。

記

- 一、事業名 入進学準部品購入事業
- 一、購入備品 文具 制服 体操服等
- 一、配分金額 97,000円
- 一、施設名称 高鷲学園
- 一、完了年月日 平成24年3月30日

社会福祉法人大阪福祉事業財団

理事長 細貝 大二郎

ほっとひとりで

じめじめした季節になりました。雨の日、こどもたちは外で遊ぶことができません。

学校ではプールも始まりました。子どもたちが元氣良く登校するとほっとします。

(1階ブロック 岡出多申)